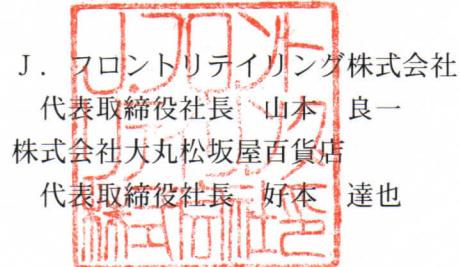


平成 27 年 9 月 10 日

一般社団法人 日本建築学会  
近畿支部支部長 門内 輝行様



「大丸心斎橋店本館の保存活用に関する要望書」について（ご回答）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年 5 月に貴会より「大丸心斎橋店本館の保存活用に関する要望書」を頂戴いたしました。当建物についての深いご理解と評価、貴重なご進言を賜り御礼申し上げます。

弊社の旗艦店舗である大丸心斎橋店本館の将来の在り方については、長年にわたる重要な課題であり、かねて、建物の安全性の向上、次世代に求められる新しい百貨店の創造、W.M. ヴォーリズ建築の歴史的文化的価値の継承を念頭におき検討を重ねて参りました。

老朽化が進んでいる本館建物は、これまで数次にわたり耐震改修を行って参っておりますが、さらに、構造面、防災面における安全性能を一段と高めるための抜本的な改修を検討いたしました。しかしこの場合、売場の中に多くの耐震補強壁を設ける等の改修が必要になり、本館建物の空間構成や百貨店機能を著しく損なうことが分かりました。

その検討の過程で、震災が発生し、また近年巨大地震の発生確率が示されるなど、安全・安心、BCP（事業継続）等、社会が求める要請も変化して参りました。このような状況で弊社としては、地震やその他災害時においても、建物の安全性が可能な限り高い水準で確保され、お客様に安心してご来店頂けることが百貨店として何よりも必要であると考えました。加えて、現行法に対する階段幅員や排煙設備などの既存不適格箇所の抜本的改善にも着手したいと考えました。

また一方、新しい心斎橋店の創造が心斎橋地区の競争力の向上、新たな賑わい創出、更なる活性化に資すると考えました。

これらのことを総合的に勘案した結果、過日発表いたしましたとおり、建替えるを得ないと判断に至りました。

この判断のもと、建替える場合における W.M. ヴォーリズ建築の価値の継承等について、学識経験者のご意見も伺って参りました。

こうした検討経緯を踏まえ、今後、以下の方針で具体案を作成して参ることといたしております。

#### ◇外観について

これまで市民に親しまれてきた御堂筋の風格ある街並みを継承するため、歴史的価値の高い御堂筋側ブロックの外壁を保存します。今後は、保存対象部分の外装材料や躯体の健全性を確認しながら保存を実現するための技術的検討をして参ります。

また、新築部も保存部とのバランスを考慮し御堂筋沿道の景観として相応しいデザインとします。

#### ◇内装について

内装については、意匠的に評価すべき部位の抽出とともに、1次調査を行いました。その結果、昭和初期の百貨店建築として当時の商業文化を現代に伝える意匠的評価の高い部分が、特に1階を中心として継承されてきたことを再認識いたしました。

現本館内部の価値の継承につきましては、保存する外壁から風除を介して繋がる1階の内部空間の継承が最も重要と考えます。

今後は、塗装の改変や劣化の有無、現躯体から取り外しが可能かどうか等再調査を行い、再活用できる部材を抽出し、弊社としての店づくりの考え方をベースに、1階を中心として店舗内装環境において活用して参ります。

本計画について、何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具